

会 議 録

| | | | |
|---|--|---|---|
| 会議の名称 | 令和6年度 第1回 池田市社会教育委員会議 | | |
| 日 時 | 令和6年8月27日(火) 午後2時00分～4時30分 | | |
| 場 所 | 中央公民館 3階 大ホール | | |
| 出席者 副議長:○ | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 田中 晋作 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 福島 輝彦 <p style="text-align: right;">計 8名</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田渕教育長 ・ 小林教育部長 ・ 西田生涯学習推進室長 ・ 前野社会教育課長 ・ 家門中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 林石橋図書館長 ・ 細谷歴史民俗資料館長 ・ 國安社会教育課主幹 ・ 中野教育政策課副主幹 ・ 金澤地域教育課副主幹 ・ 福島地域教育課副主幹 ・ 三角地域教育課指導員 ・ 田上社会教育課主任主事 <p style="text-align: right;">計 14名</p> </td> </tr> </table> | <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 田中 晋作 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 福島 輝彦 <p style="text-align: right;">計 8名</p> | <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田渕教育長 ・ 小林教育部長 ・ 西田生涯学習推進室長 ・ 前野社会教育課長 ・ 家門中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 林石橋図書館長 ・ 細谷歴史民俗資料館長 ・ 國安社会教育課主幹 ・ 中野教育政策課副主幹 ・ 金澤地域教育課副主幹 ・ 福島地域教育課副主幹 ・ 三角地域教育課指導員 ・ 田上社会教育課主任主事 <p style="text-align: right;">計 14名</p> |
| <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原 一秀 ◎ ・ 小倉 嘉夫 ○ ・ 佐藤 秀輝 ・ 田中 晋作 ・ 中路間 美貴 ・ 布谷 知夫 ・ 古田 刺男 ・ 福島 輝彦 <p style="text-align: right;">計 8名</p> | <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田渕教育長 ・ 小林教育部長 ・ 西田生涯学習推進室長 ・ 前野社会教育課長 ・ 家門中央公民館長 ・ 塚原図書館長 ・ 林石橋図書館長 ・ 細谷歴史民俗資料館長 ・ 國安社会教育課主幹 ・ 中野教育政策課副主幹 ・ 金澤地域教育課副主幹 ・ 福島地域教育課副主幹 ・ 三角地域教育課指導員 ・ 田上社会教育課主任主事 <p style="text-align: right;">計 14名</p> | | |
| 欠 席 者 | なし | | |
| 傍 聴 者 | 1名 | | |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2次池田市教育振興基本計画について 2. 社会教育関係事業の現状・成果・課題について 3. 地域と学校の連携・協働について | | |
| 配 布 資 料 | <p>資料1 社会教育関係 各課・施設の事業について</p> <p>資料2 地域と学校の連携・協働について</p> | | |

議 事 経 過

開会

(教育委員会あいさつ)

(議長あいさつ)

案件 1 第 2 次池田市教育振興計画について

『第 2 次池田市教育振興基本計画』に基づき、事務局より説明。

委員 小学生より中学生の満足度が低いことについて、どのような課題があると把握されているのか。

事務局 中学生より小学生の方が、授業の中で喜び、楽しさというものを感じているからではないかと考える。

委員 アンケート結果の公開は？

事務局 学校で実施しているものは公開している。

委員 小中一貫教育は池田の目玉なので、やり方が正しいか工夫改良していったら方向性が見えてくるのでは。

委員 学校サイドからみて、地域格差は？

事務局 中学校区で学園を設定しているが、コミュニティでそれぞれの良さがある。コミュニティの中で取り上げて色々なことをしようとしている。

委員 地域の特性を生かした活動は、池田市という狭いながら一定数の人がいるところでは、地域の特性と教育、社会教育の連携はやりやすいと思う。

委員 ボランティア活動は中学生ではなかなかできず、地域で社会経験をどうさせるかが課題。池田は社会経験をさせるのが得意なマチだと思っているが、やはり、トップダウンでやらないと進まないのではないか。

委員 地域の団結力、振興にはコミュニティを育てていく必要があると考える。

委員 地域のなかでは、行事などに年配の者が口を挟み、中学生たちが参加してくれても重要な動きができないところもある。

中学校ではクラブ活動で指導者不足によりクラブ活動が衰退している。

委員 中学校ではなく学区が大きな課題。指導者の問題など池田独自の工夫は？

事務局 中学の部活の地域移行について社会教育課、学校教育推進課と連携しながら協議会を立ち上げ、今、9つのスポーツ団体に委員会から委嘱している。

委員 中学生に図書館などで司書体験をしてもらい、未来の市役所を育てるという構想で、中学生が行政に関心を持ってもらう、自分の力を把握する場を設ける、ということを考えても面白い。

事務局 この夏、小学生に市の施設でボランティアの職場体験をしてもらい貴重な経験をしてもらった。

委員 教師の働きがいと活力という点について、一所懸命やっつけば子どもたちも変わっていく、そういう理想を見ていくことが教師の生きがい、仕事への情熱、原点に戻っていく。

委員 目の前の子どもにしっかり寄り添っていきたいというのが教師のやりがいになる。地域と学校の連携協働について、教員が地域と繋がることで教育の幅も出てくる。大事なことは、地域と繋がることを教員が経験すること、地域の人と学校とが対等に話

ができる文化を作っていかなければならないこと。

案件2 令和6年度社会教育関係各課、施設に事業について

資料1に基づき、各課、施設より説明

委員 社会教育施設の老朽化、耐震化はどうなっているのか。歴史民俗資料館では歴史に興味のない人をどうするかが課題。今の自分にとって昔のものがどういう風につながっているのかが考えられるような、子どもが興味を持てる展示を心掛けてほしい。

委員 中央公民館の稼働率、空きの状況はどうなのか。歴史民俗資料館は高齢者には行きにくいので、公民館の空いたところで展示するなど、施設をセットで交流しながら活用する方法もあるのでは。

事務局 施設の老朽化は認識。耐震か新設か検討していかなければならない。

公民館で実物展示は難しい。公民館の稼働率は40%台。

委員 展示解説に漫画の吹きだしみたいな分かりやすいな解説をつけるのも良い。

委員 留守家庭児童会の子どもの数、配食の現状は。

事務局 石橋、北豊島小学校は児童の数は増加や高止まり傾向。それ以外は減っている。

配食サービスは保護者からの強い要望で、1食あたり300円で提供。

委員 公民館のDX導入を検討されていることはありがたい。留守家庭児童会の指導員のスキルアップは。また、社会教育施設の耐震の進捗は。

事務局 留守家庭児童会の指導員は学生に頼っているところがあり、研修などで向上に努めたい。また、施設の耐震化は耐震が良いのか、改修し複合化がよいのか、検討していく。

委員 くれは音楽堂は耐震化ということだが、建替えて複合化すべきである。

案件3 地域と学校の連携・協働について

資料2に基づき、事務局より説明

委員 他市では、ボランティアを希望する人をマッチングする人がいるが、池田市では。また、地域学校協働活動推進員を中心に取り組みを進めるということだが、推進員の負担が大きいのではないか。

事務局 マッチングについては、保護者、企業、NPO 法人との連携、高校生や大学生の参画促進、人材バンクの創設、ICTの活用などを念頭に検討を進めているところ。

地域学校協働活動推進員は、今まで教職員がやってきたことを地域の方に担ってもらおうという国の観点がある。今回定めた要綱では、地域学校協働活動推進員を各学校園に1名以上置けるとしており、複数人置くことで負担軽減が可能と認識。

閉会